

## 令和 4 年度宮城県災害時小児周産期リエゾン初動確認訓練

## 1 訓練目的

周産期医療施設において発災時の PEACE の入力及びリエゾンの情報収集・共有方法の確認を行うことで、発災後の初動の動きを確認する。

<重点項目>

- ・PEACE 等を活用した情報収集シミュレーション
- ・宮城県災害時小児周産期リエゾンの初動連絡体制の確認

## 2 訓練概要

## (1) 訓練要領

- ①日時 令和 4 年 6 月 1 0 日 (金) 午前 9 時
- ②方法 メール, 電話による図上訓練
- ③場所 医療政策課執務室, リエゾン所属病院等
- ④想定 令和 3 年 6 月 1 0 日午前 9 時に三陸沖を震源とするマグニチュード 9. 0 の地震が発生し, 栗原市で震度 7, その他県内の広い範囲で震度 5 強～6 強を観測した。その直後に大津波警報が発表され, 地震による土砂崩れ・津波等により多数の死者・負傷者・行方不明者が発生した。  
また, 地震・津波により道路寸断, 停電, 通信途絶, 断水, 孤立地域が発生した。

## (2) 訓練参加者

- ・宮城県災害時小児周産期リエゾン
- ・周産期医療施設担当者
- ・宮城県

## (3) 訓練項目

- ・PEACE 等を用いたリエゾン立ち上げ報告及び周産期医療施設における被災状況の情報収集
- ・発災直後から招集判断までの連絡系統の確認

## 3 訓練縮小理由

- ・新型コロナウイルスの影響・・・接触リスクを減らすため, 参集形式ではなくメール等で実施する。
- ・宮城県保健医療調整本部の立ち上げ・・・今年が初年度であり, 調整本部の手順確認が保健福祉関係の主な訓練項目となり, 災害医療 CD や DMAT の参集等も縮小傾向。